

# みどりみらい ぐんじとしのりの議会報告

2000/10/13 Vol. 50 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362  
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

## これでいいのか 印西市 ! ~ 印西市子どもプランを考える。

### 1 はじめに

今回は、前回まで皆様にお伝えしておりました定例議会報告をお休みし、標題の件をとりあげ、皆様と考えて参りたいと思います。

### 2 「印西市子どもプラン」をご存知ですか？

印西市では子どもを持ちたい人が、安心して子どもを生み、安心して育てられることができる社会を構築して行くことが行政の重要な課題の一つであると考え、少子化への対応をはかることが急務であるとの見地に立ち、子育て支援策の基本方向と重点施策を「印西市子どもプラン」として策定しました。基本理念の「子どもがいつも輝いて健やかに育つまち・安心して子どもを生み育てることのできるまち」は子どもの利益を最優先に考え、子どもが個性豊かにいつも輝き、健やかにたくましく育つ事ができ、また安心して子育てのできるまちを目指し、新しい印西市をつくるという観点から、地域社会全体で取り組むものという考えに基づくものです。(平成12年3月に発表されております。)

このプランのなかでは、「今後は、国や県や関係団体等との連携を図りながら、この計画の実現にむけて取り組んでいく」旨の文章も含まれております。

では、国の取り組みはいかなるものでしょうか？

### 3 . 国の取り組みについて ~ 「エンゼルプラン」について

最近、マスコミ誌上で「子育て支援」なることばをよく耳にしますが、この支援には目標がございます。それが、「エンゼルプラン」(緊急保育対策5カ年事業)です。

これは社会全体で子育てを支援しようとして、国が1994年に2004年度までの10年間でやるべき対策をまとめ、「エンゼルプラン」と名づけました。更に、昨年、後半の5年間の目標を「新エンゼルプラン」して作り直しました。

これは一向に歯止めのかからない「少子化」が背景にあります。共働き夫婦が増え、核家族化が進む中で、若い親達が安心して子どもを産み育てる環境を整えることが、今まで以上に求められているために国の事業として考えられているものです。

その事業内容の主なものは以下のようなものです。

- ・ 育児休業中の雇用保険からの給付 基本給の25%から40%へ
- ・ 保育所の低年齢児受け入れ枠 58万人から68万人へ
- ・ 休日保育 100カ所から300カ所へ
- ・ 一時保育と子育て支援センターの推進 当初目標の3000カ所を目指す

そして、1999年度の実績は以下の通りです。(カッコ内は2004年度目標)

- ・ 低年齢児保育 56万人(68万人)
- ・ 延長保育施設 5125ヶ所(10000ヶ所)
- ・ 一時保育施設 3000ヶ所(685ヶ所)
- ・ 地域子育て支援センター 997ヶ所(3000ヶ所)

- \* 印西市では「児童福祉課」における歳出予算では、478,232,000円を計上(平成12年度当初予算)し、児童福祉総務費、児童措置費(児童手当給付事業)、母子福祉費、保育所費、児童福祉施設費、マザーズホーム費に振り分けられて使われております。

#### 4.印西市が対応しなくてはならない問題

##### (1) 子育て支援センター\*設置に関わる件

西の原保育園に子育て支援センターが建設されようとしております。  
このセンター設置に関しては、反対を唱えるものでは全くございませんが、保育園にお子様を預けている父母への説明が全くないまま、建設が強行されようとしておりました。その理由があきれたことに「予算を使い切らなくてはならないから」とのこと。14日に改めて説明会が開催されましたが、父母からの事前の質問があったにもかかわらず、「子育て支援センターは必要だから」という説明と、「既に予算は決まっております、工事の開始をお願いしたい」という態度に終始しました。印西市は子育て支援センターの設置について検討経緯を明らかにして、父母からの疑問に答え、納得できる説明が求められているのではないかと考えます。

##### \* 子育て支援センター

核家族、孤立しつつある家庭、または子育てに援助を要する家庭等に対して、相談支援、家庭機能の補完、支援など、それぞれの家庭のニーズに応じた多様な支援を行うことにより、子育てへの不安感の軽減を図り、子育てに喜びを感じることでできるまちづくりを推進していくことを目的としています。

##### (2) 保育園における布団乾燥廃止について

これまで月に一回であった公費による布団乾燥の実施が今年度より隔月になり、さらには来年度には全面廃止となる予定です。(今年度は既に予算で計上されているにも関わらず、今年度は来年度の全面廃止を睨んで「隔月」にしたとのことですが、何を考えているのでしょうか？議会ではこの予算を承認しています。)この廃止の件については、印西市全体で「撤廃を求める署名」が保育園の父母の間でまわり、市議会にも9月議会で「陳情」としてあがり、現在、「文教常任委員会」で討議されております。

(近隣の市町村でも、本埜村では布団乾燥は行っていないようですが、白井町をはじめ八千代市、習志野市、柏市などは公費による消毒、乾燥を月に1回実施しており、更に市川市、松戸市では布団自体が市からの貸与であるところもございます。)

##### (3) 小中学校へのABS食器導入に関する問題

印西市では学校給食で使用する食器の一部にポリカーボネート製の容器を使っております。この食器は以前より、環境ホルモンの溶出が強く疑われており、今年度、食器の入れ替えが検討されております。  
市では学校給食センター運営協議会にて「食器の変更についての討議」が行われておりましたが、プラスチック製のABS樹脂による給食食器の導入を行いたい市側と、強化磁器の導入を求める一部委員との間で協議会としての結論がまとまらず、教育委員会に委員の意見を付しての報告を行っております。  
私は、多くのデメリット(重い、かさばりやすい、割れやすい等々)を考慮しても現状では安全性が確認されていない環境ホルモンの溶出の疑わしいプラスチック製食器を使うのではなく、「強化磁器の使用」を求めて参ります。

印西市では「印西市子どもプラン」が策定され、そこでは「子育ての楽しみを発見できるまちづくり」を目標として掲げ、具体的な方策として「子育て家庭に対する支援」があげられております。しかし、この理念は今回この紙面で紹介した事例を見る限り、形骸化し、その実質は保護者の声が反映されているとはいえないものです。いずれのケースも市からの十分な説明がないまま、一部の意見が万事であるかのごとく進み、多くの市民の声に  
応えてはいないと思います。私は市に対し、これらの問題に対する十分な「説明責任」を  
果たすように求めていくとともに、多くの皆様の声をできる限り汲み、市政への提言をさ  
せていただきたいと思います。皆様1人1人が考えていることは決して一人の意見ではあ  
りません。同じような意見をお持ちの方は大勢いると思います。共に手を携え、よりよい  
まちづくりを考えて参りましょう。よろしくお願い致します。ご意見お待ちしております。